

昭和高校についてよくある質問をQ & Aにまとめました。

1 学校について

<p>昭和高校の特色はどのようなところですか。</p>	<p>施設の面では、伝統校にふさわしい趣のある校舎と、ゆったりとした敷地です。他の高校には見られない天文ドームと大型の天体望遠鏡があり、それを使って天体観測を行う天文気象部があることも特徴です。また、令和5年度には、野外ステージ(昭>Show)ステージが同窓会から寄付されました。これから部活動や文化祭で活用されます。 学校行事の面では、自主・自律の校風に基づき、生徒自らが企画運営することが特色です。入学したら、学習だけでなく、さまざまな活動に積極的に取り組んでください。 部活動も大変熱心に活動しており、学習と部活動を両立させて充実した高校生活を送ることができます。</p>
<p>昭和高校の良いところはどこですか。</p>	<p>明るく元気な生徒と、生徒を温かく見守る先生方がお互いを信じ合って穏やかに生活しているところです。 また、昭和高校を愛する同窓生による同窓会から多くの支援を受けられるところです。</p>
<p>中学校と昭和高校の違いはどのようなところですか。</p>	<p>学習に関していえば、同じような成績の生徒が集まっているので、簡単に成績を上げることができません。また、中学校時代には見たことがないようなクラス順位をとることもあります。 生活に関していえば、「自主・自律」の校風が大切に守られています。逆に言えば、適切に行動するために、自分でよく考えることが強く求められるということです。 進路に関していえば、卒業後の進路選択の幅が大変広いです。中学校では自宅から通える高校の中から選びますが、高校では全国の大学の中から考えます。また、普通科高校へ進学すれば、どの高校でも同じような内容の授業をしています。大学へ進学すると、大学によって全く違う内容を学ぶので、よく調べて選択しなくてはなりません。 一番大切なことは、中学校よりもずっと忙しくなるので、時間をうまく使わないといけないということです。</p>
<p>進学校と普通の高校では何が違いますか。</p>	<p>普通科高校の授業で扱う内容はどの高校でもほとんど同じです。違いがあるとすれば、同じ内容の授業を受けた時に、生徒がどれだけ「自分の力」にできるかということです。「自分の力」にすると、日常生活の中で、授業で身に付けた知識を基に考えて答えを見つけ出すことができるようになることです。 高校の勉強は、この「自分の力」をなるべく多く身に付けるためにあります。ですから、多くのことを「自分の力」にした生徒が大学にも合格でき、そういう生徒が集まる高校が「進学校」と呼ばれるようになるのです。</p>
<p>過ごしやすい学校をつくるために、どのような取組をしていますか。</p>	<p>気持ちの良い学校生活を送るために、挨拶をしっかりとっています。その他、生徒会を中心にさまざまな取組が行われています。生徒会からの要望をもとに先生たちで検討し、女子が制服にスラックスを選択できるようになりました。</p>
<p>昭和高校の特徴的な取組は何かありますか。</p>	<p>1コマ65分の授業です。これで各教科の内容を深く学ぶことができます。毎日、5時間で授業が終わるので、授業後の部活動や委員会活動の時間も確保でき、学習と部活動等の両立がやりやすくなっています。また、国際交流も盛んで、毎年、海外へ留学する先輩がいます。反対に、海外から来る留学生も多いです。</p>
<p>昭和高校でしかできないことは何ですか。</p>	<p>公立の普通科高校で、この学校でしかできないことはありません。ただ、皆さんが昭和高校に入学し、一生懸命に高校生活を送ることは、皆さんにしかできないことです。ですから、昭和高校に来れば何かが自動的にできるのではなく、どのような過ごし方をするのかによって昭和高校で過ごす3年間の価値が大きく変わります。あなたの高校生活を価値あるものにするのは、昭和高校ではなくあなた自身です。</p>
<p>教育目標を達成するためにどのようなことをしているのですか。</p>	<p>学力の向上に関しては、65分の授業が毎日5時間行われ、各教科を深く学んで基礎学力を養います。また、夏休み中には希望者を対象に補習講義が行われます。更に3年生は、授業後にも補習が行われ、進路希望の実現を支援しています。 社会に出てからも活躍できる人材を育成するために、学習だけではなく、学校行事や部活動、生徒会活動などの自主的な活動を通して調和のとれた人物の育成を目指しています。</p>
<p>「学園祭」では何をしますか。</p>	<p>文化祭では、1年生、2年生は教室で発表を行い、3年生は武道場の特設ステージと野外ステージ(昭ステージ)に分かれて演劇などを発表します。どの発表も、工夫を凝らした演出や装飾がされ、あっと驚くような時間を過ごせます。 体育祭はパロマ瑞穂アリーナを会場にして競技が行われます。体育祭は、球技大会の成績と合わせて1、2、3年生各1クラスで構成されるブロックの得点になるので、応援にも熱が入ります。そのブロックの結束を固めるために、ブロック長は特別な衣装を着て雰囲気を高めます。 学園祭のフィナーレは、学園祭実行委員が企画するファイナルステージです。これまで競い合ったブロックの壁を越えて全校生徒が一体となります。</p>

昭和高校にはどのような生徒が集まってきますか。	<p>エネルギーで友達思いな生徒が多いです。学校行事や部活動が活発なのはこういう生徒が集まっているからだと思われます。</p> <p>ほとんどの生徒は大学進学を目指していますから、学習に対してもエネルギーを注ぐ生徒が多いです。もちろん、一口に大学と言っても色々な大学があるのでどのような大学を目指せば良いのか、どんな勉強をすれば良いのかについてはよく考えなくてはなりません。</p> <p>昭和高校としては、スクール・ポリシーに示したとおり、これからもそういう生徒に入学してきてもらいたいと考えています。</p>
昭和高校にはどのような先生がいますか。	熱心な先生、クールな先生、おもしろい先生、優しい先生。一通りのキャラは揃っています。
どのような規則がありますか。スマホは持ち込めますか。	<p>昭和高校では、校則といわずに「生徒心得」と呼んでいます。ですから、「ピアスをつけたり髪の毛の染色等はしない。」以外に「〇〇してはいけない」という禁止事項はありません。スマホの使用についても電源を切るなどの規定はありません。それでも、大きなトラブルが起こらないところが自主・自律を重んじる昭和高校のよいところです。</p>
時間割はどうなっていますか。どのタイミングで理型と文型に分かれますか。	<p>昭和高校では、1コマの授業が65分で行われます。1日の授業数は毎日5時限で、曜日によって変わることはありません。</p> <p>文型と理型は2年生から分かりますが、実際には、1年生の秋までには文型か理型かの類型選択をします。昭和高校では、文型を選択する生徒の方が少し多いです。</p> <p>文型のクラスでは、英語・国語・社会の授業が多くなり、理型のクラスでは数学・理科・英語の授業が多くなります。</p>
購買はありますか。	売店のような購買はありませんが、昼休みには手作りパンや飲み物などの販売があります。
地域や他校との交流はありますか。	<p>名古屋市が行うスタートアップ人材(起業家)育成プログラムに参加した生徒があります。また、今年2月の愛知県知事選挙に向けて愛知県選挙管理委員会が行った、若者に投票を呼びかけるキャンペーンに、ダンス部が参加しました。</p> <p>部活動単位では、中学生との合同練習を行ったり、他校と合同練習を行ったりしています。その他、理化部が名古屋市環境局との協働で、アサガオの観察によって大気汚染の度合いを調べる活動を行っています。</p>

2 学習について

授業はどのくらいのペースで進みますか。	高校で学ぶべき内容は、中学校と比べて3倍から4倍くらいあります。それを同じ3年間で学ぶのですから、授業のペースも想像してください。
補習講義はどのくらいありますか。	1、2年生は、夏休み中に希望者を対象とする補習講義が行われます。3年生は夏休み中だけでなく、授業後にも補習講義があります。どちらも生徒が自主的に取り組むものですから有効に活用したいものです。
一日どのくらいの時間勉強をしますか。	高校生には、平日は最低2時間、土曜、日曜は最低4時間の学習時間が必要です。そして、その学習時間を維持するためには最低6時間の睡眠時間を確保しなければなりません。これらの時間を確保するためには、「朝起きる時刻」「夜寝る時刻」「勉強を始める時刻」を固定することが大切です。それが生活のリズムをつくるからです。中学生の皆さんも試してみてください。
他校と違う授業の進め方はありますか。	65分授業を行っていることが一番の特徴ですが、生徒の希望に応じて科目の選択幅が大きいことも特徴です。また、クラスを分割して授業を行う少人数講座も多く実施しています。授業の進め方ではないですが、令和5年度から定期考査の回数を年間4回に変更しました。これによって年間行事計画にゆとりができ、授業にも行事にも落ち着いて取り組むことができるようになりました。
高校から増える教科はありますか。	<p>国語、数学、英語、理科、ここまでは中学校と同じですが、社会が地理歴史と公民に分かれます。また、中学校よりも深く学ぶために、理科は物理、化学、生物という科目に分けて学びます。地理歴史も日本史、世界史、地理に分けて学び、公民は公共、政治・経済、倫理に分けて学びます。</p> <p>国語、数学、英語も、いくつかの科目に分けて、より深く学んでいきます。</p>

3 部活動・課外活動について

修学旅行ではどこへ行きますか。	初日に広島へ行き、平和記念資料館の見学や被爆者の方による講話、平和記念講演での碑めぐりを行って平和学習を進めます。翌日は、世界遺産の厳島神社を中心に宮島を班別に見学した後で神戸へ移動して市内を見学します。最終日は京都・大阪を中心とする地域を班別に見学します。 宿泊行事は修学旅行の他に1年生の高原スクールがあります。乗鞍高原温泉に宿泊し、上高地のハイキングやキャンプファイヤーなどの野外活動を行います。また、クラスごとにテーマを決めたディベートを行って考えを深める時間もあります。
部活動はどれくらいの時間やりますか。	授業後の練習は最長で3月～9月は18時15分まで、10月～2月は17時45分までです。土曜・日曜に練習することもあります。原則として午前か午後のどちらかです。練習試合や公式戦の時は1日活動することもあります。文化部も同じような時間です。 その他、朝練習を行う部活動もあります。
部活動の合宿はありますか	夏休み中に、暑い名古屋を抜け出して、涼しい信州方面で合宿を行う部活動もあります。
一番人気がある部活動は何ですか。	人気がある部活動に入部するのではなく、自分が一生懸命頑張れる部活動を選んでください。
どの部活動にもマネージャーはいますか。	部活動によって違いますが、マネージャーがいる部活動は多いです。女子の部活動に女子のマネージャーがいることもあります。

4 入試について

内申点はどれくらい必要ですか。	合格・不合格の判定に関することにはお答えできません。
入試を受けるに当たり大切なことは何ですか。	高校に入学した後に困らないように、しっかり勉強してください。特に、何でも丸暗記することなく、どうしてそうなるのかをよく考えることが大切です。

5 卒業後の進路について

卒業後どれくらいの生徒が就職しますか。	高校を卒業すると同時に民間企業へ就職する生徒は、ほとんどいません。公務員や警察官、消防士になる人が時々あります。
愛知県内の大学への進学率はどれくらいですか。	今年の3月の卒業生の場合、県内の国公立大学への進学者は48名ですから、率でいうと約14%になります。県内の私立大学への進学者は178名でしたから率は約51%になります。合計するとおよそ65%くらいの卒業生が愛知県内の大学に進学しています。 地元の大学へ進学することもよいですが、全国には特徴のある大学がたくさんありますから、地元こだわることなく広く調べることも大切です。
大学進学に向けてどのようなことをしていますか。	最初に、大学卒業後に就く職業にはどのようなものがあるのかを調べます。そして、それらの仕事に就くためには大学で何を学ぶべきなのかを考えます。それが学べる大学はどこなのかを調べます。このようにして進路研究を進めると同時に、予習・授業・復習という授業中心の学習習慣を身に付けます。さらに、補習講義や自主学習会などの学習支援を利用して実力の養成に努めます。これらは、すべて生徒が自主的に取り組んで、初めて成果が上がるものですから、学校が何をしてくれるかではなく、自分が何をしなければならないのかを考えて生活することが大切です。
留学ができる機会や制度はありますか。	昭和高校を1年間休んで留学する先輩は、毎年数人います。反対に、海外から日本へ来て1年間学ぶ留学生も毎年数人受け入れています。 令和5年度年度から、夏休み中に、友好校提携を結んでいるオーストラリアのアーンショー校へ2週間の短期派遣を再開しました。12月には、アーンショー校の生徒が昭和高校へ派遣されてきます。

6 先輩に聞いてみたいこと(生徒会執行部の先輩に答えてもらいました。)

<p>目標とする進路に対してどのように取り組んでいますか。</p>	<p>目標が高くても絶対にあきらめないという気持ちで取り組んでいます。実際に、私は成績がよい幼なじみに追いつこうと頑張って勉強した結果、成績を上げることができました。今の自分があるのは「悔しい」という思いと「諦めない心」があったからだと思います。ですから、どんな目標に対しても、自分が進みたい進路がそこにあるならば達成するまで諦めず、全力で取り組んでいます。</p>
<p>学習に対するやる気が出ない時はどうしていますか。</p>	<p>まず、勉強する準備をして机に座ってみて、シャープペンを手に取り、学習する予定のページを開いてみます。ここまででやる気がなくなったら寝ましょう。相当疲れています。まだ頑張れるよという人は、問題を1問解いてみましょう。ここでもつらくなったらやめましょう。でも、案外できるものです。たくさんやろうとするからハードルが高いのであり、1問、1問を目標にしていけば簡単はずです。 1問だけでもやらないよりはまし！コツコツと積み上げていきましょう。</p>
<p>どのような学習方法で学力を上げていますか。</p>	<p>毎回の授業ごとに予習をすることによって、授業の中でわからないことが減るので、復習だけでなく予習を重点的にやるとよいです。</p>
<p>どうやって勉強と部活動を両立させていますか。</p>	<p>部活動によっては、学校から帰るのが7時近くなることもあるので、「すきま時間」を大切にしています。家に帰ってから夕食までの時間や寝る前に5分だけ暗記するという事です。また、どれだけ忙しいときでも、勉強しない日がないようにしています。どうしても時間がとれない日は、たいてい寝る前の5分間暗記をします。 中学生の皆さんも忙しいとは思いますが、時間を有効活用して頑張ってください。</p>
<p>昼食はどうしていますか。</p>	<p>ほとんどの生徒が弁当を持参していますが、購買を利用する人も多いです。中には、持ってきた弁当の他に購買でパンを買って食べる強者もいます。購買では、おいしい菓子パンや惣菜パンの他に、ジュース、ヨーグルトなども買えます。2限と3限の間の休み時間に予約をしておく、昼休みに並ばずに購入することができます。 購買のおばちゃんは、ファーストインプレッションで、誰もが絶対に好きになります。私は、普段は母の手作り弁当をもってきていますが、月に2～4回程度、不定期に購買のお世話になる日が訪れます。</p>
<p>昭和高校の行事の魅力は何ですか。</p>	<p>昭和高校の行事といえば、なんといっても生徒が中心となって伸び伸びと行うことが特徴です。生徒それぞれが協力し、主体的に行事に参加していることで、一人一人が主人公として活躍しているため、全員が全力で楽しんでいます。 そのような行事を通して、協調性や主体性を養うこともできます。</p>
<p>高校生活のどんなところが楽しいですか。</p>	<p>一番は自由なところだと思います。他の学校に比べて校則があまり厳しくないということもありますが、それ以上に自由ということを生かして、生徒が主体となって行われる行事が多いのが昭和高校の楽しいポイントです。一方で、自由だからこそ、自分で考えて行動しないといけない場合も多々ありますが、その分自分がやりたいことを行動に移しやすい環境でもあります。私自身、高校に入ってから、生徒会活動にチャレンジして楽しく過ごせていますよ！</p>

ここにはない質問がある人や、「このことをもっと詳しく聞きたい」という人は、昭和高校のブースまでお越しください。お答えします。